



平成27年 6月26日  
内閣府沖縄担当部局

## 平成27年度北部振興事業の実施について（第2回）

### 1. 事業の概要

沖縄県及び北部市町村の要望に基づき、産業の振興、定住条件の整備に資する事業を実施。

### 2. 今回配分の状況（国費ベース）

非公共事業	公共事業
5事業	8事業
今回配分額 17.5億円	今回配分額 25.6億円

〔 前回(4月10日)の配分を合算した配分額合計 〕  
◇非公共事業 18.5億円

※詳細は別添資料のとおり

### (参 考)

#### <予算計上>

- 沖縄北部連携促進特別振興事業費（非公共事業） 平成27年度予算額25.7億円  
・補助率：8／10
- 沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業推進費（公共事業） 平成27年度予算額25.7億円  
・補助率：各公共事業の沖縄県の嵩上げされた高率の補助率を適用

#### \* 問合せ先 \*

(全般・非公共事業)  
政策統括官(沖縄政策担当)付  
(担当 池田、末永)  
電話 03-6257-1693  
FAX 03-3581-9761

(公共事業)  
沖縄振興局参事官(特定事業担当)室  
(担当 佐藤、早坂)  
電話 03-6257-1675  
FAX 03-3581-1683

## 平成27年度に実施する振興事業について

平成27年 6月26日

## 【1. 非公共事業】

## ① 産業の振興

事業名 (事業主体)	計画期間	27年度事業費 (うち国費)
やんばる観光連携推進事業 (北部広域市町村圏事務組合)	平成24年度 ～ 平成27年度	85百万円 (68百万円)
<p>美ら海水族館からその先にある「やんばる観光の魅力」の発掘とブラッシュアップのため、各エリアの特性を生かした広域周遊モニターツアーを、キーパーソンを招聘し、やんばる観光連携研究会が主体となり実施する。また、情報サイトの運用によるやんばるファン層の拡大と、インバウンドを見据えた観光案内を行う。次に、東京でのプロモーションの継続と、地元でのご当地グルメキャンペーンにより、やんばるでの周遊を促す。さらに、やんばるでの観光動態調査を行い効果的な観光戦略に活かす。</p> <p>(担当省庁) 国土交通省(観光庁)</p>		

事業名 (事業主体)	計画期間	27年度事業費 (うち国費)
北部連携物流拠点機能強化事業 (本部町)	平成26年度 ～ 平成27年度	73百万円 (58百万円)
<p>本部港の地理的優位性(北部市町村へのアクセス時間が1時間圏内)や港湾機能(大型冷蔵庫、耐震バース等)を活かし、京浜、阪神航路の誘致に向けた実証運航を実施する。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

事業名 (事業主体)	計画期間	27年度事業費 (うち国費)
やんばる3村観光連携拠点施設整備事業  (国頭村)	平成26年度 ～ 平成27年度	463百万円 (371百万円)
<p>やんばる3村(国頭村、大宜味村、東村)は、エコツーリズムが盛んで、世界自然遺産の候補地でもあるため、観光客の増加が期待されており、観光案内、環境保全、受入体制、地産地消、交流促進等の課題に対して、3村が連携した取組が必要であることから、観光客受入拠点施設を整備し、やんばる3村連携による観光案内や特産品の加工販売、イベント開催等により、地域資源を活かした持続可能な観光地の実現を図る。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

## ② 定住条件の整備

事業名 (事業主体)	計画期間	27年度事業費 (うち国費)
伊江村多目的屋内運動場施設整備事業  (伊江村)	平成26年度 ～ 平成27年度	1,526百万円 (1,221百万円)
<p>悪天候時の民泊受け入れの際、活動できるフィールドの創出や地域住民の健康増進、競技力の向上及び北部地域との地域間交流等を図るため、多目的屋内運動場を整備する。また、プロスポーツ選手や企業等の合宿誘致を推進し、交流人口増加に向けた整備を行う。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

事業名 (事業主体)	計画期間	27年度事業費 (うち国費)
恩納分遣所機能高度化事業  (金武地区消防衛生組合 (金武町、恩納村、宜野座村))	平成26年度 ～ 平成27年度	38百万円 (31百万円)
<p>現分遣所を恩納村中央部の高台に移転整備することにより、災害時の消防機能の消失を解消し、管区内及び近隣地区とのアクセス向上を図り、安心・安全を確保する。</p> <p>また、研修・訓練機能を高度化した分遣所の整備により、地域住民及び観光業者等を対象に、救急・防災意識の向上、消防団の訓練指導の強化、並びに職員の訓練充実による救急・救命の迅速化とともに、適切な救急車両等の配置を図る。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

## 【2. 公共事業】

### ①産業振興のための基盤整備（交通及び物流基盤の整備）

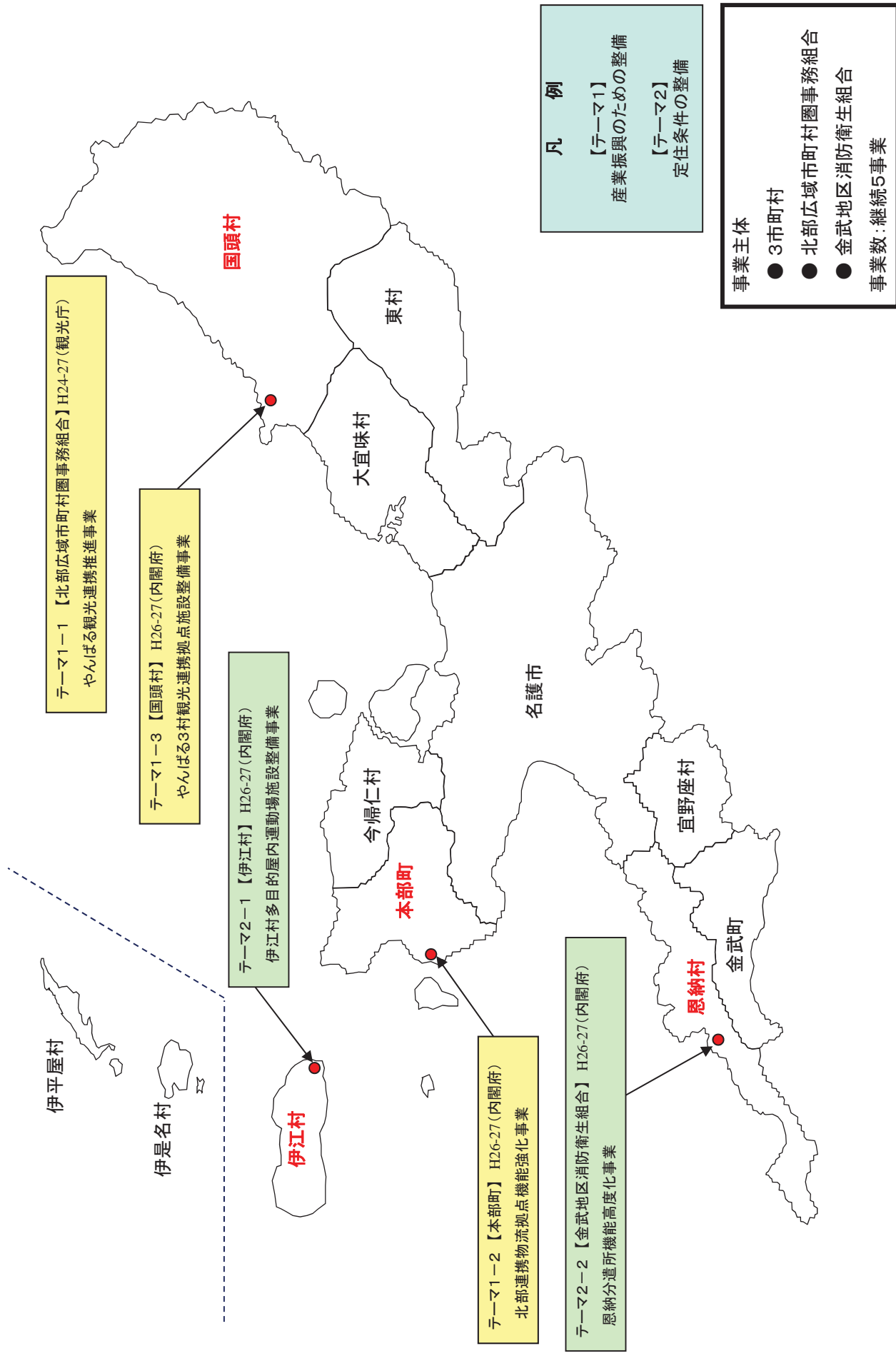
事業名 (事業主体)	計画期間	27年度事業費 (うち国費)	(参考) 予定総事業規模 (うち国費)
石川謝花線道路改築事業 (本部町) (担当省庁 国土交通省)	平24～28	298百万円 (238百万円)	1,056百万円 (846百万円)
豊原中央線道路整備事業 (名護市) (担当省庁 国土交通省)	平26～27	23百万円 (16百万円)	253百万円 (169百万円)
本部港本部地区港湾改修事業 (沖縄県) (担当省庁 国土交通省)	平24～28	1,552百万円 (1,397百万円)	6,070百万円 (5,463百万円)
<p>(事業概要)</p> <p>交通基盤については、観光等の産業振興を支えるインフラとして、交通の利便性の向上に資する道路を整備し、さらに、物流機能の向上に資する港湾整備に取り組むとともに、海上交通による本島・離島間の交通アクセスの改善を図る。</p>			

②定住条件の整備（生活環境基盤等の整備）

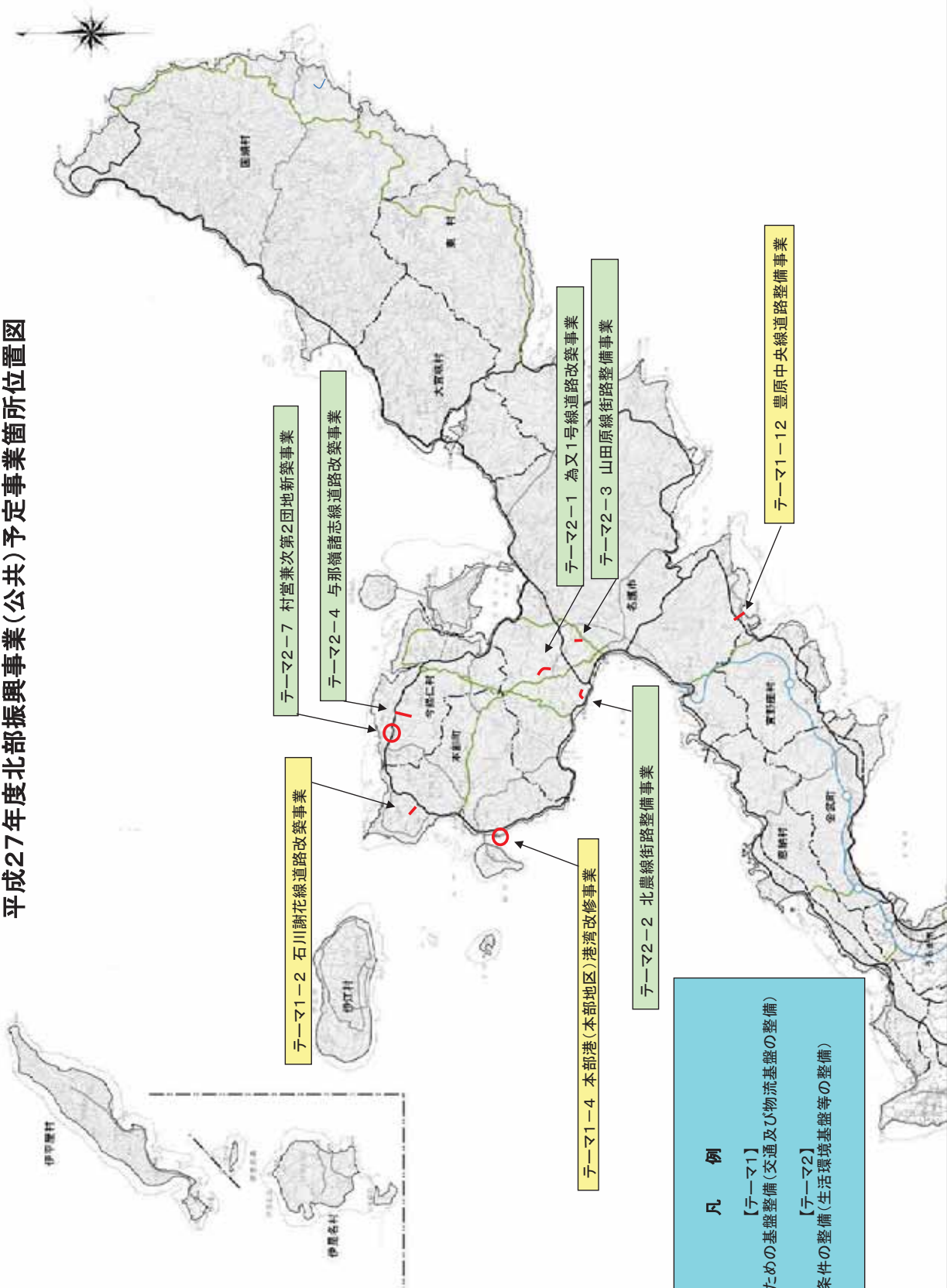
事業名 (事業主体)	計画期間	27年度事業費 (うち国費)	(参考) 予定総事業規模 (うち国費)
為又1号線道路改築事業 (名護市) (担当省庁 国土交通省)	平24～28	245百万円 (197百万円)	766百万円 (614百万円)
北農線街路整備事業 (名護市) (担当省庁 国土交通省)	平24～28	239百万円 (191百万円)	673百万円 (539百万円)
山田原線街路整備事業 (名護市) (担当省庁 国土交通省)	平25～28	510百万円 (408百万円)	986百万円 (789百万円)
与那嶺諸志線道路改築事業 (今帰仁村) (担当省庁 国土交通省)	平24～28	129百万円 (103百万円)	579百万円 (464百万円)
村営兼次第2団地新築事業 (今帰仁村) (担当省庁 国土交通省)	平27～28	19百万円 (14百万円)	249百万円 (174百万円)
<p>(事業概要)</p> <p>北部地域への定住を促進するため、生活環境基盤の整備を推進し、生活の安全性、利便性及び快適性の向上を図るため、道路、公営住宅を整備する。</p>			

(注) 平成27年度事業費は、今後事業を実施する過程で変動する場合がある。

# 平成27年度 北部振興事業(非公共)(2次配分)配分事業箇所位置図



# 平成27年度北部振興事業(公共)予定事業箇所位置図



**凡例**

【テーマ1】  
産業振興のための基盤整備(交通及び物流基盤の整備)

【テーマ2】  
定住条件の整備(生活環境基盤等の整備)